



このほか若手優秀論文賞には、農学生命科学部の橋本陽特別研究員、被ばく医療総合研究所の楊国勝研究機関研究員、保健学研究科の七島直樹講師の3人が選ばれた。遠藤賞と若手優秀論文賞は弘大の研究水準向上に貢

トロフィーを手に、記念写真に納まる受賞者たち。前列右から2人目が阿部教授

弘前 光触媒研究で 阿部教授受賞

弘前大学は、このほど、弘前市の弘大創立50周年記念会館で本年度の学術特別賞授与式を行った。独創的で完成度の高い論文をたたえる学術特別賞(遠藤賞)は、大学院理工学研究科の阿部敏之教授が受賞した。

阿部教授は、光を当てると

ことで化学反応を起こさせ、有害物質などを分解できる化学材料「光触媒」を研究。太陽光をより有効に利用できるという、新しい光触媒材料「有機Pinn接合体」を使った光触媒反応について論文にまとめた。佐藤敬学長から賞状やトロフィーを受け取った阿部教授は「有機半導体を使い、光触媒の新しい局面を切り開きたいと思って研究してきた。賞をいただき、望外の喜びだ」と述べた。

献した論文を顕彰するため、2017年度に創設された。

(太田佳希)

※この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。

東奥日報社に無断で転載することを禁止します。

[問合せ先]弘前大学理工学研究科

E-mail:r_koho@hirosaki-u.ac.jp